

社会的な見方・考え方を働かせるための学習課題や発問と資料活用の在り方

check 学習課題や発問について

〔指導事例〕 中学校地理的分野
単元：世界の人々の生活と環境
学習課題【全9時間の内の一部】

＜単元の学習課題＞

5 雨が少ない地域の人々は、ど
のような暮らしをしているのか。

9 <単元のまとめ> (めあて)
世界各地の人々の生活の違いを
地図やイラストにまとめよう。

[第5時の展開例] 教師(T)の発問と
生徒(S)が見方・考え方を働かせている姿

「課題把握場面」

T: ここはどんな場所でしょうか。【写1】
S1: 所々に草のようなものが見えるけれど、
後ろの山みたいな所には木がないし、緑
が少ないので、雨が少ない所です。
S2: らくだがいるから、砂漠のように雨が
あまり降らない所だと思います。
S3: 雨が少ないと、米や野菜は育つのか疑問
です。どんな物を食べているか調べてみ
たいです。(→学習課題へつなげる)

「課題追究場面」

T: 乾燥帯はどんな所に広がっていて、どんな特徴がありますか。【図1, 2】

S1: アフリカやアジアの、赤道から少し離れた地域に多く見られ、雨量が少ないです。

S2: 雨季のある乾燥帯もあります。

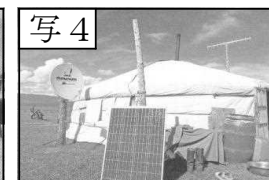
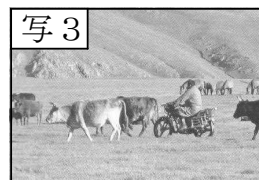
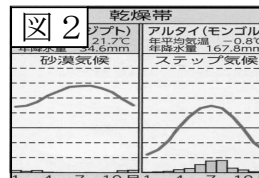
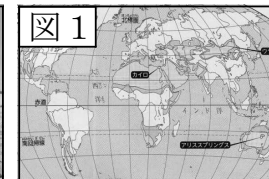
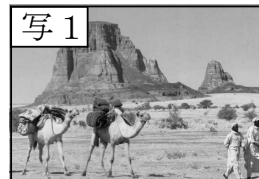
T: どんな住居で生活し、どんな物を食べて
いますか。 【写2～4など】

S1: 乾燥帯は木が手に入りにくいので、日本とは違う材料で家を作っています。
S2: 土を使った日干しレンガだと思います。
S3: 雨が少ないから土が使えるんだ！
S4: 草が生えている所では家畜を飼っています。重要な食料になると思います。

T: テントの住居が見られるのはなぜですか。
S2: らくだや山羊が草を食べ尽くすと別の場
所に移動しなければならぬからです。
S1: 移動にはテントが適しているからです。

check 資料について

本時を構想する際には、児童生徒に読み取らせる情報や複数の資料を関連付けて考察させる内容などを考えた上で、ねらいの達成に必要な資料を精選します。



重要【写1】のらくだや荷物を隠して発問するなど、提示方法の工夫は、見方・考え方を働かせることにつながります。また、本時の授業前には、児童生徒に気付きを促したり、思考を深めさせたりする発問の準備も大切です。